

某月某日、某所にて・・・

ヨ：おつかれさまでーす。
な：お疲れす。ようやくひと息つきましたな>第二号
あ：で、今日は読者ページを作ろうって話ですか？
ヨ：前号で告知しちゃったものねー。作るって。
あ：具体的にはどんなページにするの？
な：うむ。全然考えてない
あ：そんな（汗
ヨ：でも、せっかくアンケートをやったんだし、お答えしなきゃ悪いですよ。みんなに。
あ：そりゃそうだ。
な：もちろんやらない訳ではないよ。では、いきますか。
（しびしび立ち上がるnagajis）
ヨ：あっ、これって、もしかして。。。
あ：酷評されたチャット形式。。。
な：うるさいッ！他に思いつかなかったんだッ！
ヨ・あ：...orz

Reader's voice

このコーナーでは
前号のアンケートや
投書箱 ORJ_readers@yahoogroups.jp に
寄せられた声を紹介していきます

■最初の一通

な：7月1日の公開直後に、投書箱にもらったメール。正直たまげたね。
ヨ：午前0時台でしたもん。大きな手応えを感じましたよねー。
あ：ウホッ！なんかキター！（w ってドキドキしながら見てたし。
な：何より、一番乗りではあるけれども、こちらの意図していたことをズバリ言い当ててはるのが驚いた。特にあきら氏の原稿とか、広告の狙いとか。
あ：あはははは（照笑
な：思わず拝んじゃった（一人一）ム
あ：吊ってどうするんですか（汗
ヨ：その後も、投書や投稿希望のメールを続々といただきましたね。
な：ほんと、こんな早い段階から多くの人に参加してくれるとは思ってなかった。嬉しい限りです。これで調子に乗らずに、実直に頑張っていきたいと思えます。
ヨ：その割には、このページ、手抜きに見えるんだけだなー。
な：うっく。。。 :

早速ですが、ORJ7月号を読ませていただきました。素直な感想は、すごいなあです。売っている雑誌とほとんど変わらない、いや、内容の濃さも考えるとそれ以上だと思いました。新聞記事のようなスタイルを想像していたので、とてもびっくりしました。大変失礼しました。特に、あきらさんの「... 廃隧道へ行こう」は、初心者向けの配慮もちゃんとなされていて、安心して読むことができます。それぞれの企画はまだ始まったばかりのようで、これからどんなマニアックな連載となるのか、とても楽しみにしております。また、全体的に黒と赤・寒色系の色が多い（あたりまえですが）ので、明るめの広告を間に入れると、明るいページももりばめられてインパクト倍増になるかなと思いました。

将来ですが、可能ならこれをコミケなどで販売してみるなど、していただけたらうれしいです。PCの画面上だけだと、せっかくきれいな写真やレイアウトがもったいない気がしました。プリンタを使っても、インクが激減するだけであまりきれいになりませんでした。（表紙を印刷しかけてあきらめました）

創刊号のすごさにびっくりしたものでして、とりあえずメールさせて頂きました。... まだ、さっと読んだだけですので、じっくり読ませていただきます。ヨッキれんさんの本格的な物書きデビューも、期待しております。アナログの「紙」に書くとなると、ホームページのように奇抜な文字や表現は少なくなるかもしれませんが、ユーモアあふれる物書き、これからもがんばってください。 :

■しかーし！

な：しかし、お褒めの言葉だけじゃあないよ。アンケートの感想には、こんな感じで、キビシイご意見が沢山。

ヨ：うわー、きつ。

…巻頭特集をアレで行こうと決めたのは編集長ですかね。私は留めましたよ。もっと整理して書き直そうよって。

な：うむ。おれは面白いと思ったんだがなあ。

ヨ：面白いだけじゃ（汗

な：凹まない訳がないぞなもし。

ヨ：でも改めるつもりはないんでしょう？>編集長

な：横書きしかなかったら、HTMLで書くのと変わらなからね。わざわざpdfにする必要はないよ。

デザインはまー、今は、諦めてもらうしか。デザインの綺麗さ・カッコ良さよりも、見やすさとか原稿の中身だとかを充実させたいな。

あ：やっぱり匿名っていうのが良かったですね。こういう正直なご感想、頂けますから。

な：うん、そうだね。お褒めの言葉も嬉しいけど、こういう厳しいご意見も有難き物也。

あ：ナンテコト書いたら、次は酷評しか来なかったり（ry

■一足早く本になった!!!

な：山岳サイクリストの奥武蔵小僧さんからは、こんなメールも頂いたよ。

ヨ：すげー！！ORJが本になってる！

あ：うわー、マジ欲しいかも（笑

な：印刷されることなんて全然考えずにpdf作っちゃったから、何だか申し訳ないなあ。きつと大変だったでしょうに。この場を借りてm(_ _)m.

ヨ：でも結構おられたじゃないですか>印刷された方。自分も校正する時はプリントアウトしてましたし。

あ：次は編集部でやりますか。マニファクチュアで。

な：それは勘弁…。でも、こうやって、みなさんが「日本の廃道」で遊んでくれるだけでホント嬉しいですよ。

正直申して、pdfは読みづらい

いつもみたいな横書きならまだしも、縦書きだとさらにです前半のチャットはあまりのも冗長なので読み飛ばしました_作品を読ませてもらっている分際で、生意気ですがレゴも途中で読む気失せちゃいました

表紙

雑誌風にしたのは判りますが、安っぽい印象を受けます。初心者には内容が胡散臭く思われてしまって、損なのではないでしょうか？

高い志があるのですから、もっと格調高く、夢のある表紙が見たかったです。

「廃道あるき」

「山行が」の方が断然面白いですねー。

フォントが小さいし、大きくするとモニタからはみ出し、読むのにイライラしました。

「山行が」とは別、とのことですが、どう差別化して行くのか今の所よく判りません。

しかも「更新」が月いちですか！？ ……。

先日、PDFを印刷して読んでいるうちに製本してみたくなり、自分でやってみました。

こんな感じになったので、写真を送らせていただきます。製本はA4サイズに2ページ分を割付けて両面印刷をしたのですが、A4横型サイズのページの扱いとそれらの組み合わせが難しかったです。また「次号予告」のページを裏表紙に持って行くか、本の中に入れ込むかも悩むところでしたが、今回は裏表紙へ持って行ってみました。

その場合、文字がギリギリまで来ているので製本テープなどが使えず、

強引にくるみ製本をして、くるんだ部分をカットしたので、糊がはみ出た部分もあり、ちょっと残念な仕上がりになっていました。

ヨッキレンさんやnagajisさんたちのイメージと違っていたらごめんなさい。

Webマガジンとして画面で読むのもとてもいいのですが、印刷して手元で読むのもまた違った感じがしてとってもいいものです。

というわけで、今度はどのように製本しようかと自分勝手にワクワクしていて、ORJの内容とともに第2号も楽しみにしております。



■歌まで作ってもらった!!!

あ：遊びといえば。うちの掲示板の常連さんが、ORJの主
題歌作ってくれたんですよ（笑

な：廃道音頭、良すぎるよ！シブすぎるよ！！

トンガリキッズも登りながら歌うと元気が出そうだ！

ヨ：「山行が」もあや姉♪さんが「廃道戦隊オブローダー」
を作ってくれました。

な：裏山鹿一。そういえばヨッキさん、今月、レコーディ
ングでしたな、スタジオはどこ？ 千住？ NY？

ヨ：本気にしてるんですか編集長。。。

廃道音頭 (by sudofooさま)

こん道は こん道は 西の廃道
こん道は こん道は 東の隧道
こん道は こん道は 世紀の廃道
こん道は こん道は 崩落隧道
1970年の こん道は
こん道は こん道は 未来の廃道

廃道を 隧道を 西から東へ
酷道を 橋梁を 北から南へ
草薮を 廃洞を 出口を目指して
直登を 懸垂を ものともせず
駆け巡るオブローダーの こん道は
こん道は こん道は 未知の道へ

ORJストーリー (by ピカさま)

地図に載らない ルートでも
廃道だったら それでOK
無理は承知の探索も
やればできるねと 笑う奴ら
Come on! Come on! Come on!
日本の廃道
おそれないで人はみんな廃道の虜
Come on! Come on! Come on!
奴らが呼んでる
ORJのpdfを ゲットしたら
何かが変わる 君の目の前
ああ 魅惑のobsolete road
活躍していた 道なのに
誰もが忘れて ゆくんだね
なぜかちょっぴり 悲しくて
愛しさなんか 感じてる
Come on! Come on! Come on!
日本の廃道
まよわないで人はみんな廃道の虜
Come on! Come on! Come on!
おいでよ今すぐ
ORJのpdfを ゲットしたら
何かが変わる 君の目の前
ああ 魅惑のobsolete road

O-DASH (by ピカさま)

ちょっとヤバすぎるかもよ オブローダー！
路肩崩落かもよ オブローダー！
落石激突かもよ オブローダー！
ゲート閉まっちゃうかもよ オブローダー！
落ちて死んじゃうかもよ オブローダー！
隧道埋まってるかもよ オブローダー！
燃費悪すぎかもよ オブローダー！
彼女、怒っちゃうかもよ オブローダー！

熊がのしのし徒歩で登場、
想像以上に足早い
ダートも舗装されてますよ、
昔じゃ考えられないね
隧道巡りはただの趣味です、
19世紀の貴重だわ
看板無視して許されてたよ、
今じゃ裁判沙汰だもん
もぉー！ちょっと店員さん！
もぉー！ハイオク入れないで！
もぉー！草で擦るのに
ワックスかけるのやめてー！

ちょっとヤバすぎるかもよ オブローダー！
泥でスタックかもよ オブローダー！
電波届かないかもよ オブローダー！
マムシ踏んじゃうかもよ オブローダー！
それはヤバすぎるかもよ オブローダー！
急にバンクするかもよ オブローダー！
夜は焦っちゃうかもよ オブローダー！
道は行き止まりかもよ オブローダー！

JAFのトラック助手席に乗って、
請求額に思いはせて
愛車は優雅に25分、レッカー記録は新記録
廃道走破もただの趣味です、
峠が越えれりゃ大吉
地図を見るのが好きだった、
今じゃどいつもこいつもカーナビ
もぉー！ちょっと店員さん！
もぉー！ボンネット開けないで！
もぉー！ケミカル用品勤めずに！
窓を拭けて言うでしょー！

減速せずに水たまりへGO、
なんかちょっと愉快
猛烈ダッシュで水たまりへGO、
これはかなり愉快！

(くり返し)
(くり返し)

あ：それぞれ元ネタは

万博音頭 (三波春夫)

異次元ストーリー (『夢戦士ウイングマン』OP)

B-DASH (トンガリキッズ) です。

な：ウイングマンかー、懐かしいなあ、

ヨ：うふふ。「チェイング！ 必殺！ デルタエンドッ！」
って流行りませんでした？小学校で。

あ：□φ (° - ° ;) ←実はドリムノートを使っている